

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		今後も定員に合った室内環境と指導訓練室等のスペースを広く活用し、質の高い療育に努めたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		今後も適切な職員配置に努めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもたちにとって過ごしやすく、利用しやすい生活動線や遊びの環境等が誰でも分かるよう構造化され、設備に関しても子どもたちが利用しやすいよう適切に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々、整理整頓等を行い清潔に安全に子どもたちが安心して活動できるようにしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の申し送り事項などを振り返りのミーティング等で職員が広く参画できるようにしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表の結果を踏まえ定期的に保護者等の意向を業務改善に役立てています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価を受審し改善に努めていきたいと思っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間計画を立て定期的に法人内研修及び外部研修オンライン研修に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児童・保護者の意向等を踏まえ、定期的にあセスメントシートの見直し計画を行なっています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを活用し、子どもの状況や保護者のニーズ、課題を会議にて共有し把握しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインや相談支援事業所の計画を通し、具体的な支援内容に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に基づき定期的なカンファレンスにて確認を行なっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週案会議、月会議を通して、職員全員で行なっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期的なカンファレンスや週会議を通して定期的に見直しを行なっています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団活動と個別活動を組み合わせ行っております。保護者との面談等で個別での関わりも取り入れています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		打ち合わせを行い、支援内容など確認を行なっています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎回カンファレンスを行い、気付きを共有を行なっています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		カンファレンスと同時に記録を作成し、次回の療育に繋げています。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		カンファレンスやモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを検討しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や、日々療育に関わる保育士及び児童指導員が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		今後も、こども支援課等、関係機関と連携し、支援を行ないます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を継続していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		県や他施設など研修会に参加し、サービス担当者会議、関係機関連携会議を通し、助言を受けるなど連携を図っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		学童等の小学生や認定こども園等との交流を行なっています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地域の子ども・子育て会議等に参加予定です。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		並行通園での利用のため、各園から送迎を行っているため連絡帳を通し療育の内容をお知らせします。その他月毎に保護者と話を行う機会をつくり、共通理解に努めています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	実施に努めます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	利用契約時に重要事項説明書、運営規定、利用者負担金について説明を行い、了承の上署名を頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○	児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画を保護者に確認し、同意をいただいています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者からの相談に随時応じ、必要な助言や支援をおこなっています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携の機会を増やしていきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	利用契約時に体制を案内し、迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	ホームページやメール等を通じて活動概要や予定を保護者に対し配信して行きます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○	個人情報保護法に基づき、職員・書類の管理を行なっています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	子どもの特性を把握し、配慮を行っております。送迎時、もしくは、月毎に度の面談の機会を活用し、情報伝達を行っております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	わくわくフェスタ等の園の行事を開催し地域の方等に参加して頂きました。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	月毎の訓練を行なっています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○	申込時点にて保護者に確認しています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	申込時点にて保護者に確認しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	定期的に会議を行い事業所内で共有しています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待防止のチェックリストを行い、会議などを通して再確認を周知しています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束はしないように努めるのが大前提ではあるが、安全確保の為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、月に1度の身体拘束委員会で決定し、子どもや保護者に契約時に説明し、同意を得たうえで児童発達支援計画計画に記載しています。